

その「物語」、の物語。

「ペログリ」的複眼思考の味わい vol.166

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。小説『33年後のなんとなく、クリスタル』を'14年に河出書房新社から上梓。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



2030年には出生率2.07に回復!? 問題山積みの「移民力」に過度の期待

今週の逸品



ヤリイカの香味オイルかけ、胡瓜とピーナツ和え

1580円、780円

孔子の出身地山西省の料理を供する。中国大陵で「孔」姓を名乗る人数は20数万人。1月末に身罷ったサウジアラビア第6代国王も初代国王の37人の息子の1人。第5代国王の異母弟。第7代国王に就任のサルマーン・ビン・アブドゥルアズィーズも初代国王の25番目の男子で第6代国王の異母弟。如何なる「お家騒動」が展開されるか想像も付かず。移民問題と同様、今後の世界情勢の不安要因として注視すべしとの指摘も。

【孔子膳堂】東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴ1F ☎03-5544-8438 ①11:00~15:00、15:00~17:00、17:00~23:00 無休 <http://kousizendou.com/>

Illustration by Hajime Anzai



「移民を毎年20万人受け入れ…1億人を保つ」と首相が議長の経済財政諮問会議で内閣府が文書配布。「50年後にも1億人程度の安定的な人口構造を保持」と昨年6月に閣議決定。「国柄」を変えて「日本を、取り壊す。」似非「保守」を一刀両断の拙稿。前号の連載内容をツイートすると「見損なつたね、お前もウン八百田中だ」とDMが着信。「日本列島は日本人だけのものではない」と鳩山由紀夫氏の「至言」を、あろう事か、現政権が追認していくニッポン」と最後に記した

一文に激昂したらしき読者から。斯くなる御仁と相互フォロワーしていた洞察力の無さに恥じ入りつつ、昨年6月24日に閣議決定の「骨太方針 経済財政運営と改革の基本方針2014」を今一度、探録しましょう。従来の少子化対策の枠組みにとらわれず、「2020年を目的にトレンドを変えるために抜本的な改革・変革を推進すべき時期に来ている」と第1章「4. 日本の未来像に関わる制度・システムの改革」冒頭で記し、「人々の意識が大きく変わり、2020年

を目的にトレンドを変えていく」とで、50年後にも1億人程度の安定的な人口構造を保持することができると詳説しています。「平成25年版厚生労働白書」に記載された国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」も探録します。平成22(2010)年に総人口1億2806万人の日本は、50年後の平成72(2060)年に8674万人、100年後の平成122(2110)年に4286万人。比するに、昨年2月24日開催の経済財政諮問会議「選択する未来」

委員会の内閣府は、以下の資料を配付しています。資料1「目指すべき日本の未来の姿について」。移民を年20万人ずつ受け入れた場合、1億1000万人程度を維持。資料4「女性、高齢者、外国人など多様な人材の活躍と企業経営、移民」。少子高齢化に伴って急減する労働力人口の穴埋め策として「外国からの移民を毎年20万人受け入れ、合計特殊出生率が人口を維持できる2.07に回復すれば」「100年後も人口は1億人を保つことができる。」

前述の閣議決定が、厚生労働白書と内閣府資料の何れに基づくか明々白々。問題山積必至な「移民力」への期待も明々白々。「選択する未来」委員会配付資料は「2060年1億0989万人」「2110年1億1404万人」と明記。「移民受け入れ 出生率回復」2030年に2.07の但し書きと共に。その理由は、病気・事故等を勘案すると合計特殊出生率が長期間に亘って2.07で推移した場合に初めて人口は横這いで維持されるから。因みに2013年は1.43。「なんとなく、クリスタル」を僕が執筆した33年前の1980年でも1.75。閣議決定に参加した閣僚が身罷った50年後、如何なる「国柄」へと変容しているのでしょうか。「日本を、取り壊す。」日本を、取り壊す。と僕が危惧する所以です。